

心身共に整った状態で登校させていただいたことに感謝申し上げます。おかげで皆輝いた1学期となりました！

旭小ブログほぼ毎日更新中！最新情報はブログをご覧ください！



旭の子だより

～ かしこく やさしく たくましい 旭の子 ～ R8 No.4 (2026. 7. 17)



「通知表」の話～未来の我が子へのエール～

校長 半田幸弘

7月中旬、マスコミなどでは終業式の様子が取り上げられ、初めて「通知表」をもらうドキドキの1年生の姿を目にする。旭の1年生も(保護者も?)初めての通知表にドキドキ、ワクワクしているかもしれない。そんな通知表ではあるが、最近では所見のない通知表や普通紙で簡単な成績連絡票になっている学校もある。20代の頃、通知表をハンコと手書きで思いを込めて仕上げてきた身からするとさみしくもある。また、我が家には50年ほど前の通知表がきれいに保管されていて、今でもその所見から元気をもらうことがある。以下に「R7旭の子だよりNo.3」の「通知表作成に思う」を再編して掲載する。

通知表の時期になると思い出すことがある。教員3年目の12月、家族で海外旅行に行くために終業式を欠席した子がいた。通知表が渡せずに新年を迎えてしまった。仕方なく3学期始業式の日朝、母親の送りで登校した際に本人に見せコメントをしてから、母親に通知表を渡した。するとその場で押印をしてすぐに返されてしまった。日々、その子の評価を重ね、丸ハンコを何十個も押し、所見の下書きに30分は要し、手書きに20分はかけ、その子のよいところを記述したつもりだったが、十分に目を通すことなく返されてしまった。若輩教員の私には大きなショックだった。今考えれば、先生に迷惑をかけまいとすぐに押印して返してくれたのかもしれないが、通知表作成週の平均睡眠時間は4～5時間/日だった私にとって「通知表ってそんなものか…」と大きく落胆したのを今も覚えている。



昔から「のびゆく子ども」



半世紀前の先生や親からの思いと期待が
今でも伝わってくる

時代は変わり、通知表作成がパソコンとなり、かかる時間は格段に減少した。ただ、きめ細かに子どもたちを観察し、たくさんの事項を評価するための時間は増えているようにも感じる。いずれにしろ、学期末に教員が身を粉にして通知表作成に当たっていることは間違いない。そして、児童1人1人の学校での様子を伝える通知表にはそれだけの価値があると思う。またその子の人生の大切な足跡になると思う。

私の小中学校の通知表は母がアルバムに整理してくれていた。久しぶりにそれを眺めると義務教育9年間の自分の成長とそれを支えてくれた先生の思いに触れることができる。そして何よりも母の記述は今でも心に強く響いてくる。

そんな通知表作成にどのくらいの時間がかかるのか、何人かの先生に聞いてみた。一人あたりにすると最低でも1時間との回答だった。一人1時間として30人学級なら30時間。教職員の一週間の労働時間が38時間45分、そのほとんどが学習指導や生活指導であり、落ち着いて通知表作成に専念できるのは児童が下校後の1時間程度。これでは通知表が勤務時間内に完成するはずがない。これを補うために7月第2週は事務処理日とし早帰りにさせていただいているものの、先生方の残業がなかなか減らない。

ぜひ、先生方の思いの詰まった通知表をお子さんと一緒にゆっくりご覧いただき、1学期のがんばりへの称賛と2学期に向けての課題を話し合ってもらえたらと思っている。そして保護者欄にはお子様の成長への思いをたくさん記述していただきたい。その後、大切に保管することで、30年後、50年後のお子様へのエールになるかもしれませんから。

九合の国宝を見に行こう！

この夏、飯塚町から100年ほど前に出土した国宝の武人埴輪が東京国立博物館から里帰りします。場所は高崎市群馬の森にある群馬県立歴史博物館です。東京なら大行列をしてみる一品です。



「アカデミア」とは、学者や学問の世界、学術研究機関を意味します。すなわち子どもたちの日々の学びの先にあるものです。そこで活躍されている先生方をお招きすることで、子どもたちや教職員、そして保護者の皆様に最先端の学びの世界「アカデミア」を感じてもらい、よりよく生きようとする生き方“ウェルビーイング”を目指しつつ、100年たくましく生きていってほしいと思っています。そのために以下の3つを計画しました。なお、本計画はPTAとの共催事業とし、講師謝礼などはPTA会費より援助いただきます。本当にいつもありがとうございます。ぜひ皆様もご参加下さい！

＜走るコツをつかむ体育実技＞「かけっこ教室」

- ・日 時 9月18日金曜日 2～4校時
1,2年生:2校時(9:40-10:25)、3,4年生:3校時(10:50-11:35)、5,6年生:4校時(11:40-12:25)
- ・対 象 全学年児童(保護者の参観可)
- ・会 場 本校校庭(雨天体育館)
- ・申込み 保護者の申込みは不要です。当日、活動の邪魔にならないところでご参観下さい。
- ・その他 地元関東建設工業(株)の地域貢献事業としてアスリート社員5名に御参加いただきます。

＜自分の命は自分で守る防災学習＞「災害から命を守る

- ・日 時 12月11日金曜日 5, 6校時(13:55-15:30)
- ・対 象 4, 5, 6年生児童と本校保護者(希望者、1,2,3年生の保護者も参観できます)
- ・申込み 保護者の申込みは後日案内します。

＜自分の食を見直す食育調査と講演＞「食べることの大切さを知ろう」

- ・日時等詳細未定、決まり次第連絡します。

夏休みは日頃できないことをやってほしい！との考えから、どの学年も図工や国語の課題は選択制になっています。前号で紹介した「子どもをたくましくする夏旅」やたくさんの本をじっくり読んだり、根を詰めて絵を描いたり、何度も失敗を繰り返しながら自由研究に打ち込んでほしいと思っています。ただ、選択制の課題だけでは基礎学力の定着が心配です。そのために各学年ドリルが出ています。これには必ず取り組み、余裕があれば何度も繰り返してほしいと思っています。

もう一つ、宿題が少ないのには訳があります。必修の宿題がたくさんあることで、8月中旬以降、子どもによっては、気が滅入ったり、睡眠不足になったり、結局終わらずに学校に行きたくなったりします。2学期を気分よくスタートするためにも、少なめの宿題になっています。



もし、たくさんの課題に挑戦したい！と考えている人は個人で申込み可能なコンテストなどがおすすめです。児童玄関内にたくさん掲示してありますのでご覧ください、ぜひ挑戦してみてください！（平日の9:00-16:30ご覧いただけます。インターホンで本件をお伝えいただけます。入校の上、ご覧下さい。）



自分はアニミズムだなと思うことがある。すぐにその物の気持ちを考えてしまう。校長室前に落とし物コーナーがあるが、その物たちの「帰りたいよー、迎えに来てよー」の声が聞こえる(気がする)。先日、学校周辺で小物をみつけた。それには名前があった。全校児童の名簿を調べ、持ち主に届けることができた。これはまれで、校内で拾った物の多くには名前がない。名前さえあれば帰れるのに。今、展示してある落とし物はもうすぐ廃棄処分になる。今日も「助けて!」と聞こえてくる。



6/30(火)の第2回PTA本部役員会で今年度PTA修繕費と記念事業積立金を用いた以下の事業が承認されました。なお本校の懸案であるトイレ問題は、日々の清掃に力を入れR9年度から1億円規模で行われる大規模改修を待つこととなりました。詳細を知りたい方は本校PTA担当までお問い合わせ下さい。

- ①学校美化のための西門の門扉塗装（南門と北門は市費で行います）
②校内美化のための校舎の２階通路の壁塗装
③校庭全域に響く音で子どもたちが活躍するための運動会音響施設整備